

第6回市民公開講座

ユマニチュードがもたらすもの - 環境と情報と変容 -

日時 2018年7月1日(日)
13:00-17:00
(開場 12:00)

会場 上智大学
第6号館 1階101教室
東京都千代田区紀尾井町7-1

基調講演

ユマニチュード - その哲学・生理学・環境学的因子と考察

京都大学 こころの未来研究センター特任教授

Yves Gineste (イヴ・ジネスト) ※同時通訳付き

シンポジウム

ケアの科学的分析・評価と実践

- 情報環境から脳と心の病に迫る「情報医療」の可能性
国立精神神経研究センター 神経研究所 疾病研究第七部 部長 本田学
- 介護に望むこととお礼したいこと
～自分がその時に望むこと、母を介護しての経験を通じて～
もう少し勉強すれば日本の介護は超一流
上智大学総合人間科学部 社会福祉学科教授 栃本一三郎
- フランスのユマニチュード認証制度と日本への導入課題
社会福祉法人三篠会 ユマニチュード認定インストラクター 森山由香
- 総合討論・質疑応答 司会 国立病院機構東京医療センター 本田美和子

入場無料・参加事前登録制 申し込み：<http://seizon.umin.jp/>

第6回 市民公開講座 ユマニチュードがもたらすもの:環境と情報と変容

開催にあたり

2012年から日本への導入が始まった知覚・感情・言語による包括的ケア技法のユマニチュードは、施設や病院だけでなく、自治体、地域社会、家庭、学校などで幅広く利用され始めています。それと同時に国立研究開発法人科学技術振興機構を始めとする公的研究資金を得て、情報学、心理学、哲学、人工知能などさまざまな分野の専門家とともに臨床研究も進んでいます。6回目となる今回の市民公開講座では、これまでの研究で明らかになったことや今後の展望に関する基調講演に加え、共通するテーマで研究を進めていらっしゃる神経学、社会福祉学の専門家をお招きして討論を行います。さらに、ユマニチュードの施設認証制度についてフランスで学んだ日本のインストラクターが、その概要について解説いたします。

プログラム 2018年7月1日(日)

会場のご案内 上智大学 第6号館 1階101教室

12:00 開場

13:00 開会の辞 公益財団法人生存科学研究所 理事長 青木清

13:05 基調講演 ユマニチュード
その哲学・生理学・環境学的因子と考察
京都大学こころの未来研究センター 特任教授 Yves Gineste

14:10 情報環境から脳と心の病に迫る
「情報医療」の可能性
国立精神神経研究センター 神経研究所疾病研究第7部 部長 本田学

15:00 休憩

15:15 介護に望むこととお礼したいこと
上智大学総合人間学部社会福祉学科教授 枡本一三郎

15:45 フランスのユマニチュード認証制度と
日本への導入課題
社会福祉法人三篠会 ユマニチュード認定インストラクター 森山由香

16:20 総合討論と質疑応答
司会 国立病院機構東京医療センター 総合内科医長 本田美和子

16:55 開会の辞 国立病院機構東京医療センター 院長 大島久二

● 四谷キャンパスアクセスガイド
Yotsuya Campus Access Guide



JR中央線・総武線 東京メトロ丸ノ内線・南北線
四谷駅 麹町口・赤坂口より徒歩約5分

公益財団法人 生存科学研究所

本研究所は、急速な科学の進歩により生じる新たな危機から人類をまもるため、凡ゆる領域から総合的に『生存』問題に取り組む研究所として、医師会会長を長く務めた故武見太郎先生により1984年に設立されました。その活動はホームページ (<http://seizon.umin.jp>) に掲載されています。会員は生存科学に関する自主研究を様々な視点から行い、講演会、シンポジウム、あるいは学術誌「生存科学」を通じ、広く一般の方々とその成果を共有するよう努めております。

上智大学 生命倫理研究所

本研究所は上智大学の基本理念である「キリスト教ヒューマニズム」と「人間の尊厳」を基盤として、人文科学、社会科学、自然科学の学問領域の統合と融合による、生命倫理学の発展と深化に寄与することを目的に設立されました。

国立病院機構東京医療センター

当院は患者のみならずとも健康を考える医療の実践を理念とする総合病院です。1884年に海軍軍医学校第二付属病院として誕生し、その後1945年に国立東京第二病院、2004年に国立病院機構東京医療センターと名称を変更し現在に至ります。感覚器疾患の高度専門医療施設の機能をもつ一方、地域社会の健康を支える地域医療支援病院でもあります。とりわけ総合内科は総合診療の分野では日本でも有数の歴史と規模を有し、老年医学にも力を入れています。